

マダムジュジュ

愛され続けて70周年を迎えました



小林製薬株式会社(本社:大阪市、社長:小林 章浩)のスキンケアブランド『マダムジュジュ』が、発売70周年を迎えました。

『マダムジュジュ』は1950年の発売以来、常にその時代の女性たちに新しい提案を続け、全国の根強いファンに支えられ続けてきました。戦後の過酷な環境下に女性の美しさに寄り添ったように、現代においても生活スタイルの変化など、何かと忙しい女性に寄り添い、母から娘へ、娘から孫へと受け継がれ愛され続ける幸せなクリームとして、これからも女性のお肌の美しさと共に歩んでいきます。

愛され続けて70年 ～マダムジュジュ誕生秘話～

『マダムジュジュ』は、戦後間もない1950(昭和25)年にジュジュ化粧品株式会社の前身である寿化学株式会社から発売されました。

戦争中、化粧をする余裕を持つことが出来なかった女性たちは、終戦による開放で自由を手に入れ、「何をおいても美しくなりたい!」という一心から化粧品に対する欲求が高まっていました。そんな女性たちの気持ちに応え、「20代、30代を戦争で苦しみぬいてこられた奥様にこそ、若々しく生き活きとしてもらわなければ日本再建はできない。結婚をし、子どもが生まれてお肌のお手入れどころではなくなった奥様方にも女性としてのお化粧の悦びを味わってほしい」という創業者の想いが形になって「マダムジュジュ」は誕生しました。



マダムジュジュ

マダムジュジュの歴史 ～長年愛される理由～

女性とスキンケアの歴史 ← → マダムジュジュの歴史

戦後：女性の化粧品への欲が高まる

上昇志向の高まり

忙しい＝時短

女性の地位向上

婦人参政権の実現
新憲法制定

復興へ向け

女性の労働需要増大

高度経済成長期へ

節約美德から消費型生活へ

働く夫を支える専業主婦

女性は学校卒業～結婚までの
就労が一般的

女性のパートタイム

労働者増加

製造業での労働者不足の中、
パートタイマーとして働く主婦が
増える

機 能 性 志 向

男女雇用機会均等法 成立

女性の社会進出
働き方も多様化

自 然 派 志 向

癒し、香りなど付加価値

ワーキングマザーの 増加

18歳未満の子どもを育
てながら働く母親が7割
を超える(2017年)

1950年 マダムジュジュ 発売



1951年当時の新聞広告

■マダムジュジュは奥様専用商品!?

戦後の復興期、化粧品といえば若い人のためのものと決まっていた。しかし、創業者の中野武雄は、10代、20代の青春時代を戦争で苦勞してこられた方々、結婚を子どもが生まれてお肌のお手入れどころではなくなった奥様方にも女性としてのお化粧の悦びを味わってほしいと考えたのでした。

■「奥様方のお化粧法を一変しました!!」

当時、マダムジュジュは戦後の自由を楽しむ女性たちに、次々と新しいお化粧法を提案し続けました。クレンジング後、おやすみ前にマダムジュジュを少し厚めに塗る、パックのような使用方法や、当時主流だった「粉化粧」を自然に落ち着かせ、長持ちさせる化粧下地としての使用方法です。

1963年 ■「25才はお肌の曲がり角」の
キャッチコピーが反響を呼ぶ



1966年 ■マダムジュジュE 普通肌用 発売



「これだけ塗り」のヒントになった
“マダムパック”が掲載された
1963年当時の新聞広告

1969年 ■マダムジュジュE 化粧水 発売

2013年 ■ジュジュ化粧品株式会社が小林製薬グループに加わる

2015年 ■マダムパック「これだけ塗り」ブーム

忙しい現代女性にぴったりの簡単塗るだけ・しっとりツルツルマダム
パック「これだけ塗り」をおすすめ。ヒントは昔の新聞広告でした。

2016年 ■マダムジュジュ恋する肌 発売
やさしいフローラルの香り



■レトロコスメブーム

2020年 ■マダムジュジュ 発売70周年を迎える



『マダムジュジュ』製品特徴

POINT1

年齢により減っていく、水分と油分のバランスを整える「卵黄リポイド※1」配合

年齢を重ねたお肌は、水分と皮脂（油分）のバランスが崩れることに注目。マダムジュジュは、水分と皮脂（油分）のバランスを整える「卵黄リポイド※1」配合。「卵黄リポイド※1」は肌の角層成分に似た構造で、お肌にスーっとなじんで角層まで浸透。しっかり保湿します。ごわつきやすい年齢肌にうれしいクリームです。



※1 卵黄エキス（補油成分）

POINT2

お肌に浸透※2して潤いを抱え込む「バニシングクリーム」

肌表面に塗ると潤いを抱え込みながら、角層に浸透して、徐々に消えていくバニシングクリーム（vanish：消える・見えなくなる）。皮脂に似た天然補油成分「卵黄リポイド※1」を配合。お肌に潤いを与え、やわらかなお肌へ。



※2 角層まで

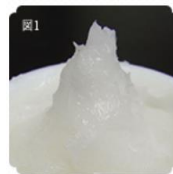
POINT3

70年変わらない
製法のこだわり

熟成製法と特有のパール感

製造直後には、マダムジュジュ特有の真珠のようなパール光沢はありません（図1）。20～25℃でクリームを長期間（約21日間）熟成させることにより、パール光沢と独特の使用感を生み出します（図2）。

マダムジュジュは、70年以上作る人が変わっても昔ながらの変わらぬ製法を受け継ぎ、機械化できない工程は人の手で丹精込めて作り上げられています。



熟成前
パール感なし



熟成後
パール光沢と独特の
使用感あり

浸透して消える不思議なクリーム

『マダムジュジュ』は、卵黄から抽出に成功した天然の美容成分「卵黄リポイド※1」を使用した熟成バニシングクリームなので、べたつかず、お風呂上がりのお肌や、おやすみ前にもお使いいただきやすいクリームです。お肌に塗ると、クリームが肌の角質まで浸透し、はじめは白かったクリームが徐々に肌表面から消えていきます。浸透したクリームがお肌にうるおいを与え、肌あれを防ぎ、ハリとツヤを与えしっとりツルツルの肌に仕上がります。

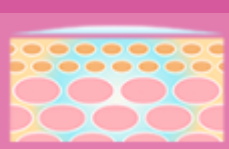
※1 卵黄エキス（補油成分）



皮膚に塗ると薄い膜になり、お肌を保湿して皮膚を守ります。



肌ののせたクリームが肌の角層まで浸透していき徐々に肌表面から消えていきます。



浸透したクリームが肌の角層を厚く膨潤させることで、ふっくら、もっちりとした肌に導きます。

※角層の断面図

※イメージ図

『マダムジュジュ』 香りのヒミツ

マダムジュジュの香りは、戦後の復興期に再開したばかりの歌舞伎観劇に集う奥様が纏う香りをイメージして作られました。

当時の人々にとって、歌舞伎という存在は日常とは違う、贅沢な娯楽であり、おしゃれをして、着飾って集う場所。「気品のある」「おしゃれな」「粋な」そんな女性をイメージしたマダムジュジュの香りは、現在も変わらず引き継がれています。

『マダムジュジュ』の上手な使い方

マダムパック

マダムジュジュをたっぷり塗るシンプルスキンケア「マダムパック」。

お肌をリフレッシュしたい時に、白いクリームを顔にたっぷり塗るだけ。10分ほどでお肌に浸透※したあとにお肌に残ったクリームといっしょに古い角質もオフすれば、つるんとなめらかなお肌に！ ※角層まで



手取る

マスク1～2個分
手のひらに取る



「これだけ塗り」

顔が白くなるくらい
たっぷり塗る！



待つ

10分
そのまま置く



マダムジュジュE
化粧水でふきとるの
もオススメ！

ふきとり

化粧水を含ませた
コットン等でふきとる

製品ラインナップ



マダムジュジュ
販売名: マダムジュジュa
45g/700円



マダムジュジュ恋する肌
販売名: マダムジュジュKa
45g/700円



マダムジュジュE 普通肌用
販売名: マダムジュジュE
普通肌用
52g/800円



マダムジュジュE 化粧水
販売名: マダムジュジュE
化粧水
150ml/800円

10月10日は ジュジュ化粧品の日

「明日も輝く笑顔とともに」をスローガンに、笑顔の似合うセルフ化粧品を作り続けてきたジュジュ化粧品株式会社によって制定されました(日付は「ジュ(10)ジュ(10)」と読む語呂合わせから)。

「ジュジュ化粧品の日」(10月10日)には、1946年(昭和21年)の誕生以来変わらない「笑顔のそばにジュジュ化粧品がありますように」との想いが込められています。

女性の笑顔を生み出し続けてきたジュジュ化粧品の想いは小林製薬へと受け継がれ、これからも輝く女性に寄り添っていきます。

※記念日は一般社団法人・日本記念日協会により認定・登録されました